

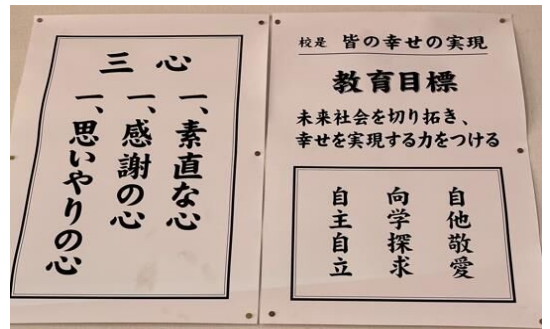
学校訪問シリーズ 54

大分市立吉野中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「未来社会を切り拓き、幸せを実現する力をつける」を達成するため、育成を目指す資質・能力を、吉野小学校と統一して「言語能力（聞く力）」と定め、三心（素直な心 感謝の心 思いやりの心）と共に、授業や行事等においては常に意識しながら実践を行っています。

また、2学期の中間試験を9月5日に実施する等、生徒や教師の繁忙期を分散させるような働き方改革を行うことで、前例踏襲にならないような年間計画を作成しています。今後とも、小規模校の強みや小・中連携を活かし、上位目標である「言語能力（聞く力）」を育成するような行事の在り方や、カリキュラム・マネジメントを期待します。



授業から学ぶ

3年生社会は、タブレットを日常的に活用しているようなので、生徒達は自分の考えを瞬時に表現し、その後は班で効果的な交流を行っていました。今回の「有罪・無罪」のような決断を迫る課題は生徒達を白熱させ、また、納得解を求めるような交流は、本校が目指す「言語能力（聞く力）」育成にも役立ち、これからの授業の在り方の参考になると思われました。

2年生保健は、実際に「手洗いチェッカー」を体験させることで、より理解が深まったと思われました。

1年生数学は、難易度が高い活用問題でしたが、そのため、生徒達は多様な考えを持ちペアだけでなく自由に動きながら課題を解決しようとしていました。なお、支援の必要な生徒に対する、個別の指導や課題については是非ともご検討願います。

今後は、指導案のねらいを、①追究対象（～を、～について）②着眼点（～により、～を通して）③到達点（～できるようにする）の視点で書かれると、授業の評価もより明確になると思いました。

今後は、指導案のねらいを、①追究対象（～を、～について）②着眼点（～により、～を通して）③到達点（～できるようにする）の視点で書かれると、授業の評価もより明確になると思いました。



NO.336 2022年11月 大分市立吉野中学校

素直な心

正しいと思うこと、大切だと感じたことを自らやってみる。そして、友達の実践の良さを認める。



NO.337 2022年11月 大分市立吉野中学校

感謝の心

「納得するまで教えてくれてありがとう」「私の説明で分かってくれてありがとう」共に感謝する。



NO.338 2022年11月 大分市立吉野中学校

思いやりの心

自分の思いを伝える時は、相手のことを考えながら説明する。だから、共感的に聴き合える。